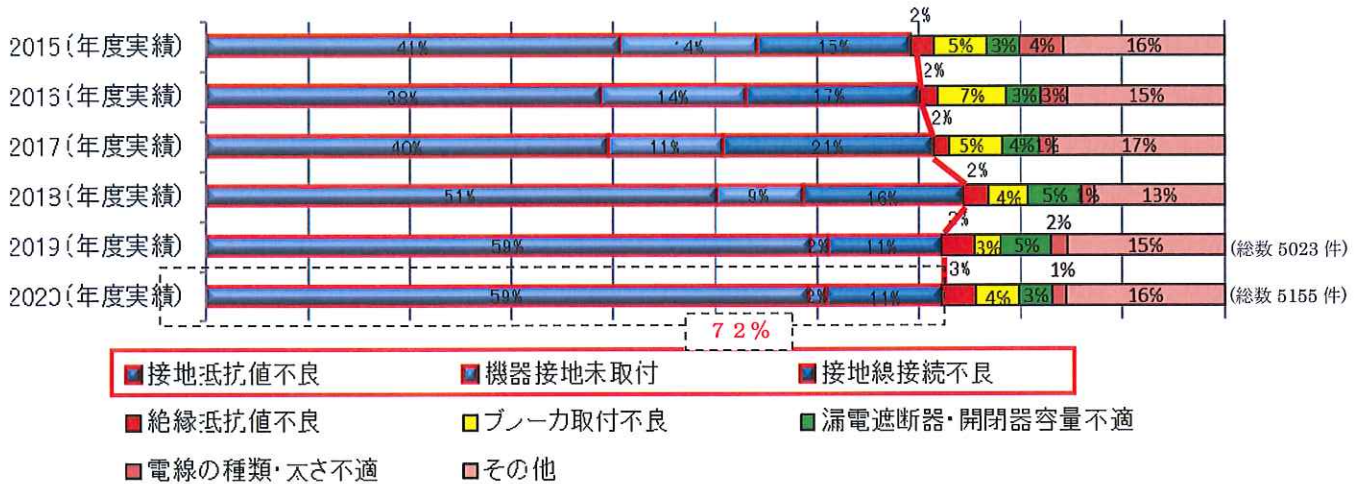




接地不適合工事抑制に向けた取り組みについて（2020年度結果報告）

1 不適合工事発生率の推移



2020年度の接地関連不適合工事は前年とほぼ同じ割合で発生している。不適合工事の中で、依然接地関係の不適合の割合が高い（72%）ことから2021年度も抑制に向けた施策を継続実施する。

2 2020年度に展開した取り組み

①「接地抵抗測定値未記入防止PRチラシ」の配付

- ・接地抵抗測定値の未記入があった場合や昇降柱訓練の機会を捉え、電気工事店にPRチラシを継続的に配付。

②「接地工事未実施・接地線未接続防止PRチラシ」の配付

- ・不適合通知発行にあわせ、当該電気工事店にPRチラシを配付。
 *当該電気工事店より、取引先（ハウスメーカー、建設会社、設備業者、量販店等）にも周知・徹底を実施

③教育訓練・昇降柱訓練時の接地測定に関する教育の実施

- ・接地測定に係る「訓練プランニングシート」や接地関連部分の記載内容を充実した「引込および内線工事便覧」を活用し、適宜教育を実施。

3 2021年度の取り組み

これまで同様、粘り強いPR活動を継続することにより工事者の意識への浸透を図っていく。よって、チラシの配布によるPRおよび教育訓練でのPRを積極的に実施していく。特にPRチラシの配布については、PR先の拡大に注力し取り組む。

以上